

## 【東大Cedep子ども研究員対面調査】新型コロナウイルス(COVID-19)感染対策マニュアル

発達保育実践政策学センターでは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大により、対面調査の実施を休止しておりましたが、2023年3月1日より、対面調査の実施ならびに協力依頼を再開いたします。

本センターでは感染防止対策として、以下の方針(※1)のもと対面調査を行っております。なお、本指針については、今後の感染状況により変更となる場合がございます。ご質問等ございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

### 1. 当センターによる感染対策

- 調査室内の換気・消毒を徹底しております(特に、ドアノブ、机、椅子などは調査ごとに消毒いたします)。また、同室での調査は30分以上の間隔を開けて行い、調査時間が最小限になるようにいたします。
- 調査担当者は、新型コロナウイルスワクチンを接種済みの者に限定します。また、調査の1週間前から体調確認を行い、発熱(37.5度以上)などの体調不良(※2)が見られた場合には担当者を変更するか、調査を延期いたします。
- 調査担当者は、調査中に不織布マスクを着用し、不必要な発声については極力避け、調査前後の手指のアルコール消毒を徹底します。
- 調査担当者の新型コロナウイルス陽性が発覚した場合には、濃厚接触の可能性のある調査参加者に速やかにご連絡し、保健所の指導に沿った対応を行います。
- 国や自治体、大学の方針や感染拡大状況を鑑み、当センターから調査の中止・延期をお願いすることがございますので、ご了承下さい。

### 2. 調査参加者をお願いする感染対策

- 調査時間を出来るだけ短くするために、調査の説明書・同意書を事前にメールや郵送などで送付させていただきます。調査参加までに、書類に目を通していただくようお願いしております。
- 調査前1週間以内に保護者様やお子様が発熱(37.5度以上)などの体調不良(※2)が見受けられた場合には調査担当者にご連絡ください。調査の予定をキャンセルもしくは延期させていただきます。
- 調査当日は、最少人数でご訪問いただき、ご兄弟などの同伴は可能な限りお控えください。また、本学への入構時には検温、調査室への入室時には手指の消毒をお願いしております。室内では必ず不織布マスクをご着用下さい(お子様は着用が可能な場合のみで構いません)。
- 調査参加後1週間以内に保護者やお子様の新型コロナウイルス感染が発生した場合には、本センターの調査担当者までご連絡ください。

---

(※1) 上記の感染拡大防止対策については、以下の資料に基づいて考案されています(以下のリンクから外部サイトの資料をご覧ください)

- ・[内閣府「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン一覧」](#)
- ・[文部科学省発行「感染拡大の予防と研究活動の両立に向けたガイドライン」](#)
- ・[Cedep HP: 新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)関連の子ども・子育てに関わる情報リンク集](#)

(※2) 発熱以外の体調不良については、以下の症状等を指します

1. 最近の息苦しさ(息が荒くなった、急に息苦しくなった、少し動くと息があがる、胸の痛みがある、横になれない・座らないと息ができない、肩で息をしたり、ゼーゼーする)
2. 最近の味覚、嗅覚障害(においや味を感じない)
3. 最近のせき・たん(せきやたんがひどい)
4. 最近のだるさ(全身のだるさがある)
5. 吐き気(吐き気がある)
6. 下痢(下痢がある)
7. その他(食欲がない、鼻水・鼻づまり・のどの痛み、、頭痛・関節痛や筋肉痛、一日中気分がすぐれない、からだにぶつぶつ(発疹)が出ている、目が赤く、目やにが多い など)

---

### 3. お問い合わせ先

東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

東大Cedep子ども研究員担当

E-mail: [labo\\_cedep@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:labo_cedep@p.u-tokyo.ac.jp)

TEL: 080-3464-3403

(※調査担当者が調査・在宅勤務のため不在の場合があります。可能な限りEメールでのご連絡をお願いします。)